

茨城 地質観光マップ ⑤五浦海岸

岡倉天心が愛した地、五浦海岸。
その成り立ちを知ったとき、
あなたも五浦のとりこになるかもしれません。

茨城県北端の北茨城市にある五浦海岸は明治時代に岡倉天心はじめ多くの芸術家を支えました。青い海に映える赤い小さな建物は天心の思索の場、六角堂。大津漁港では海の恵みに感謝しながら暮らしてきた人々の文化を感じます。私たちが提案する探索コースは **—** で表した海岸沿いの道です。自然・歴史文化を取り入れたおすすめのポイント4カ所をめぐるみましょう！

五浦海岸のあらまし

この地域は自然や歴史や文化がたくさん詰まった場所です。大昔、人類が誕生するよりもずっと前の時代は、ここは深い海でした。海の中で砂や泥などがたまって、固まり、台地の変動によって海から姿をあらわし、陸地になりました。それが波の力で削られ岩礁や崖が出来て、変化に富んだ地形が美しい景色を見せてくれるのです。



おかくら てんしん
岡倉天心
1863年2月14日～1913年9月2日
明治に活躍した美術家であり、日本美術院の創設者です。五浦では、六角堂をアトリエとして活動したのち、日本美術院の拠点ともし、近代日本美術の発展に大きな功績を残しました。茨城県天心記念五浦美術館では、五浦を愛した天心の作品の展示や貴重な資料などにより業績が紹介されています。写真は明治31年頃のもの（茨城県天心記念五浦美術館提供）。

スタート!
長浜海岸
忘れじの碑
★ **ポイント1**
海の中で出来た地層を見よう！



矢印の所に階段があります



茨城県天心記念五浦美術館
開 9:30～17:00(入館16:30まで)
休 毎週月曜日
天心をはじめ五浦で活躍した横山大観、木村武山の作品が展示されています。ぜひ見てみましょう。

五浦観光ホテル
サメの歯の化石

★ **ポイント2**
化石を見つけられるかな？

茨城大学 天心の墓
五浦美術文化研究所
開 9:30～17:00
(入館16:30まで)
休 毎週月曜日

六角堂
★ **ポイント3**
天心の見た風景ここにあり！

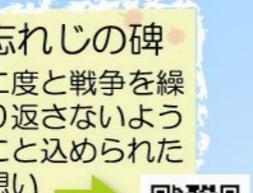


大津灯台
五浦岬公園

アンコウ鍋
ぜひ食べてね！

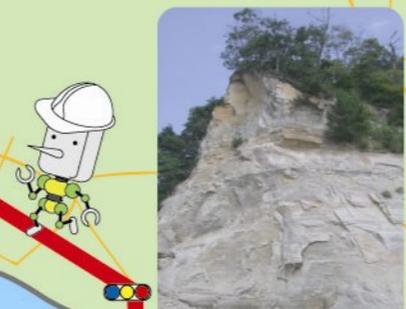
忘れじの碑
二度と戦争を繰り返さないようにと込められた想い

もっと詳しく！



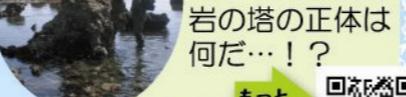
もっと詳しく！

ハンマー等は使用せずに観察してください



大津層の断面が見られます
石が落ちてくる可能性がある
ので近づかないでください

ししがしら
海岸で見られる岩の塔の正体は何だ…？



もっと詳しく！



★ **ポイント4**
おいしい海の幸はここで！

漁業歴史資料館「よう・そろー」では海の伝統文化や漁業の紹介、また、市の魚「あんこう」の種類・生態・調理法などを展示しています。ブルー・ツーリズムの中核拠点でもあり、1時間程度の漁村体験ができます。よう・そろー一帯にあるお店では北茨城の旬の味覚が楽しめます。お土産にぜひ！！



新鮮！海の幸！
入館料・営業時間はQRコードから！

ポイント1

忘れじの碑近くの階段から海岸へ降りて少し歩くと、亀ノ尾層を観察することができます。この地層は縞模様をしています。灰色の触るとザラザラした層と、小麦粉を固めたような白い層。この2種類の層が何層も繰り返して重なっています。この地層は大昔に深い海の中で、細かい砂や泥がゆっくりとたまってできました。その年月の重みを感じてみてください。



もっと詳しく！

ポイント2

ベンチがある公園の奥の階段を降りて岩がちな海岸にでると、そこは九面（こごづら）層です。潮の引いている時には、ぼこぼことした岩の様子をよく見ることができます。固い部分がありませんのでこのような姿をしています。この岩の中からは、多くの貝化石や海底に住む生物の巣穴の化石がよく見られます。またムカシオオホホジロザメの歯の化石も発見されました。階段付近にも白い貝化石があるので探してみましよう！



化石はあるかな？

もっと詳しく！

ポイント3

茨城大学五浦美術文化研究所内にある六角堂。近代日本美術の発展に大きな功績を残した岡倉天心が晩年居を構えた場所です。ここからの風景は天心に何を思わせたのでしょうか。また、天心はここで釣りを楽しんだそうです。現在は海岸浸食を防ぐために自然の岩の中に人工の岩が作られています。あなたは見分けられますか？答えはwebで！



六角堂からの眺め
天心もといかに！！

もっと詳しく！

美しい五浦海岸の地形はどうやってできたの!?



五浦海岸の成り立ち

五浦海岸独特の美しい景観は、はじめからあったわけではありません。五浦の地形は太平洋の荒波と五浦海岸の特徴的な地質によって生まれました。

五浦海岸は岩石海岸です。硬い岩石にも削られやすい岩石とそうでない岩石があります。五浦海岸は、削られやすく脆い砂や泥が固まった岩石と、硬く削られにくい石灰質の岩石からできています。五浦海岸には毎日太平洋の荒波が打ち寄せ、波の力で岩石は少しずつ少しずつ削られていきます。このとき、硬い岩石はあまり削られずに残ります。

また、海岸沿いにできる崖を海食崖と言います。波の浸食によって岩石海岸の海面の高さにくぼんだ地形ができ、それが深くなると、上部の岩が重力に耐え切れずに落ちて海食崖ができます。そのため崖の下には大きな岩のブロックが見られます。

五浦海岸の由来とは

長い年月をかけて、崖ができ、入り江が作られ、現在の五浦海岸が誕生しました。入り江がいくつあるのか数えてみると… 五つあるようですね。

「浦」という字は「入り江」と同じ意味を持っています。「五浦海岸」は文字通り、五つの浦（入り江）があり、地名の由来となっているのです。それぞれ南から順に小五浦・大五浦・椿磯・中磯・端磯と名づけられています。

また五浦の特徴的な地形としてポイント1で、海食崖の基部にできる海食洞（詳細は下記QRコード）と泥岩の岸壁を見ることができます。どちらもおもしろいポイントなのでぜひ足を運んでみてください！

海食洞とは？



各ポイントの詳しい説明を携帯サイトで紹介しています。QRコードの読み取り機能のある携帯電話で読み取って接続してみてください！

五浦をつくる、海だった頃の地層たち

かめのおそう ここづらそう おおつそう
五浦は、亀ノ尾層、九面層、大津層と呼ばれる地層から成ります。



亀ノ尾層

亀ノ尾層は1800-1900万年前の層で、泥が固まった泥岩から成ります。また、砂が固まった砂岩も少し見る事が出来ます。泥岩層には深い海に生息する貝化石がしばしば産出します。

九面層

九面層は1650万年前くらいの細粒の砂岩で、海底の生き物の活動で地層がかき混ぜられた痕跡があり、貝化石などが多く産出します。また、六角堂近くの岸边には化石を多く含むコンクリーションと呼ばれる硬い岩礁も見られます。コンクリーションの成因にはメタンハイドレートが関係しているといわれています。



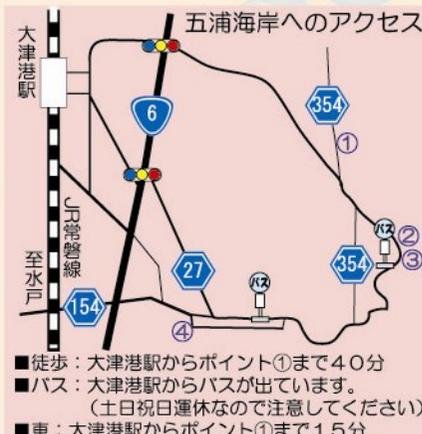
← 生痕化石
コンクリーション
メタンハイドレート
生痕化石について もっと詳しく!



大津層

大津層は1000万年前くらいの泥岩です。大津層のは、風化が進むと青灰色から淡黄色へと色が変わり、風化した表面が剥がれやすくなる特徴があります。

これらの地層では、海に住んでいた生き物の化石が多く見られるので、この辺りは大昔には海の底にあったことが分かります。死んだ生き物などが砂や泥と共にたまった後、台地の動きとともに上昇し陸上に現れ、今の地形ができたと考えられます。このマップで、このあたりがかつて海底だった事を想像しながら歩いてみてはいかがでしょうか。



以下の方々のご後援をいただきました！（順不同・敬称略）

北茨城市
<http://www.city-kitaibaraki.jp/>

北茨城市観光協会
<http://www.kitaibarakishi-kankokuyokai.gr.jp/>

北茨城市商工会
<http://www.infonavi.co.jp/~kitasho/>

北茨城市教育委員会

グリーンふるさと振興機構
<http://www.greenful.jp/>

このマップに関するお問い合わせは地質情報活用プロジェクトまで！

茨城大学 社会連携事業会支援事業
Ibaraki University



茨城 地質観光マップ

⑤五浦海岸

断崖絶壁の正体…
この謎を解く鍵は
波の力にありました！

製作：茨城大学 地質情報活用プロジェクト

お問い合わせ ▶ geo_tourism@hotmail.co.jp
ホームページ ▶ <http://geotourde.gozaru.jp/>
茨城大学の学生によるプロジェクトです

協力：株式会社サイボックステクノロジー
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-19-9 VCTビル3F